

### Ⅲ 家庭教育

## 「久山町通学合宿をとおして」

福岡県 久山町教育委員会 教育課課長 伴 義 憲

#### 1. 久山町の概要

福岡市の東部に隣接し、東に犬鳴山地を背負い、西の方はるかに博多湾を望み、南北に連なる糟屋地区1市7町のほぼ中央に位置し山紫水明の農林業と工業が共存する町です。総面積37.43平方キロメートル余で、古賀市、篠栗町に次ぐ糟屋郡第3位のまちですが、土地の3分の2は山林です。人口は8,000人余りで、自然環境を守り、計画的に人口増加を図っています。

地区公民館活動（自治公民館）は、伝統行事、祭りなど各地区特色がある活動が進められています。

昭和52年から、学校・地域・家庭が一体となった道徳推進運動は青少年健全育成の大きな柱として、町民に定着しています。

#### 2. 通学合宿のあゆみ

##### (1) 平成9年度久山町通学合宿

主催 久山町通学合宿実行委員会  
期間 平成9年6月7日から14日  
(7泊8日)  
参加者 小学生5年～6年生 31名

##### (2) 平成14年度

地区わくわく通学合宿  
2分館実施 (3泊4日)  
参加者 20名  
(地域アンビシャス運動開始)

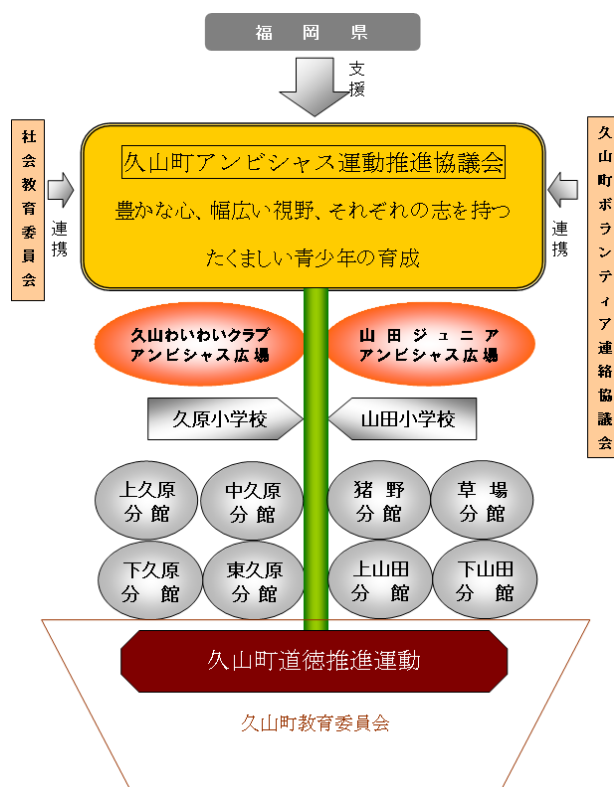
##### (3) 平成17年度

地区わくわく通学合宿  
8分館実施  
参加者 126名

(4) 平成9年度～平成23年度までの通学合宿のべ参加者  
833名

現在の中学生の80パーセント以上が通学合宿参加者であり、経験者です。

#### 久山町アンビシャス運動の組織図



#### 3. 中久原分館の事例

- (1) 公民館役員（公民館主事・子ども会育成会長等）OBで組織
- (2) 指導者 茶和会 約100名  
婦人会OG 約10名
- (3) 通学合宿のモットー  
ア 大人はなにもしない  
イ 子どもの自主的活動  
・ 本当に危険なこと以外、大人が口出し、手出しをしないことで育つ、子どもたちの自主性  
ウ 夜の公民館は大人の社交場

- ・通学合宿での子どもの見守りを年1回の世代ごとの集まりの場として



【100年続く中久原祇園祭り】



【通学合宿時のお茶の作法教室】

#### 4. 成果と今後の課題

##### (1) 成果

###### ア 地域

- (ア) 地域全体が元気になった
- (イ) 公民館活動が活発になった
- (ウ) 子どもの親が地域行事に参加するようになった
- (エ) あいさつ運動でよく声をかけるようになった
- (オ) 青少年健全育成が地域全体のテーマとして定着した
- (カ) 子ども会育成会を再認識できた

###### イ 子ども

- (ア) よくあいさつするようになった
- (イ) さまざまなことに興味を持ち、積極的に行動するようになった
- (ウ) 異年齢での活動が増えた

##### (2) 今後の課題

地域通学合宿やアンビシャス推進運動を通じて、地域・公民館活動をどう活性化していくか

#### 《福岡県青少年アンビシャス運動について》

福岡県では、平成13年度から、「豊かな心、幅広い視野、その志を持つたくましい青少年」の育成をめざす青少年アンビシャス運動を県民運動として推進しています。

この青少年アンビシャス運動の中で、「アンビシャス広場づくり事業」は、地域ぐるみで子どもを育て、元気に遊ぶ子どもたちの姿を地域に取り戻そうとする取組です。

現在、福岡県内には267カ所のアンビシャス広場が開設され、地域の皆さんがボランティアとして温かく見守る中、子どもたちは友達と自由に遊んだり、多彩な体験活動をしたりしながらのびのびと過ごしています。広場の活動を通じて、子どもたちは自主性や社会性、協調性を身に付けるとともに、他人を思いやる心や地域を愛する心を育てています。(後略)

(『平成23年度アンビシャス運動活動事例集』「はじめに」平成24年3月 青少年アンビシャス運動推進本部長 福岡県知事 小川 洋 氏のことばから抜粋)

久山町は、この運動の以前から地域通学合宿に取り組み、アンビシャス運動の推進を始めてから、アンビシャス広場を中心とした久山町アンビシャス運動推進協議会を設置し、様々な団体と連携しながら、ひとづくり、町づくりのための活動を各公民館を拠点として実践しています。